

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="http://www.ferrotec.co.jp/">http://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場

### ・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

# FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4  
日本橋プラザビル  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



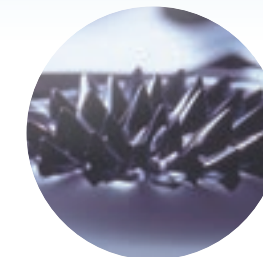
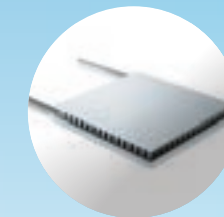
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

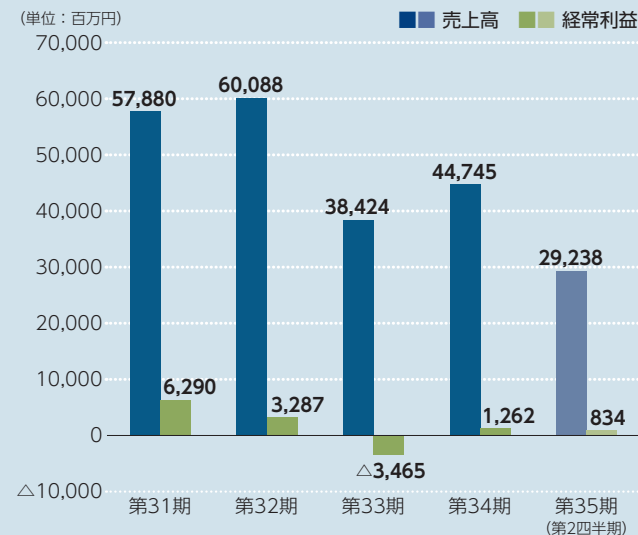
# 第35期 第2四半期決算報告

平成26年4月1日～平成26年9月30日  
証券コード：6890

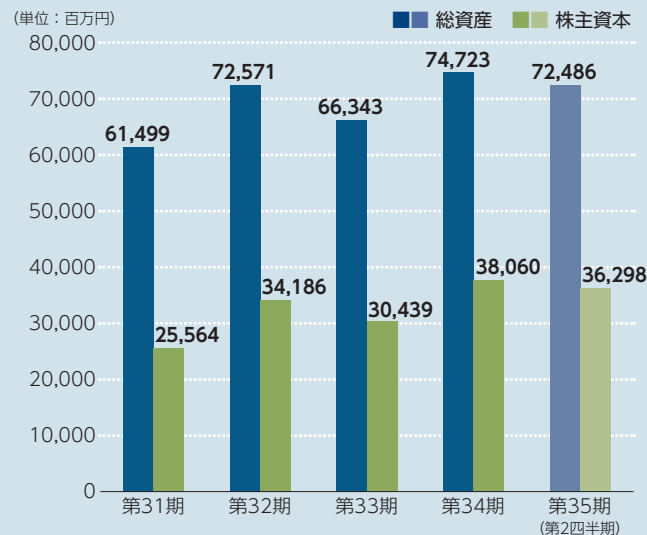


FerroTec  
株式会社 フェローテック

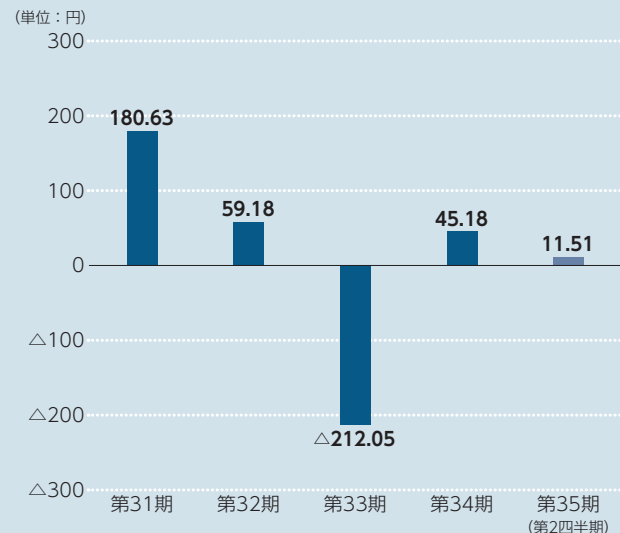
売上高／経常利益



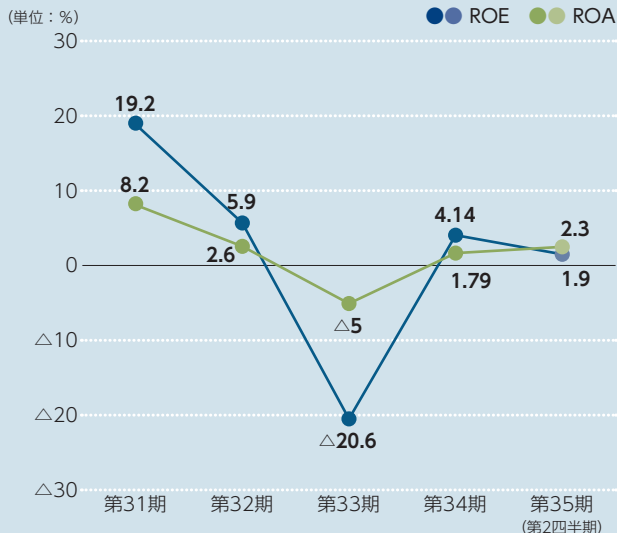
総資産／株主資本



1株当たり当期純利益



ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに第35期第2四半期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

代表取締役社長  
**山村 章**

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費増税による景気回復の遅れがみられ、円安により原材料が高騰し、製品が値上げされるなどの影響が出始めております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、車載用途、スマートフォンやタブレットPCなどの電子部品需要は好調で、半導体業界での設備投資や設備稼働率は高い状況が続きました。

特に、私が米国留学時代から修士論文の研究テーマとして長年携わってきたサーモジュールは、自動車温調シート向け以外に民生、

光通信、バイオなど幅広い産業へ事業展開しており、業績が着実に成長しております。

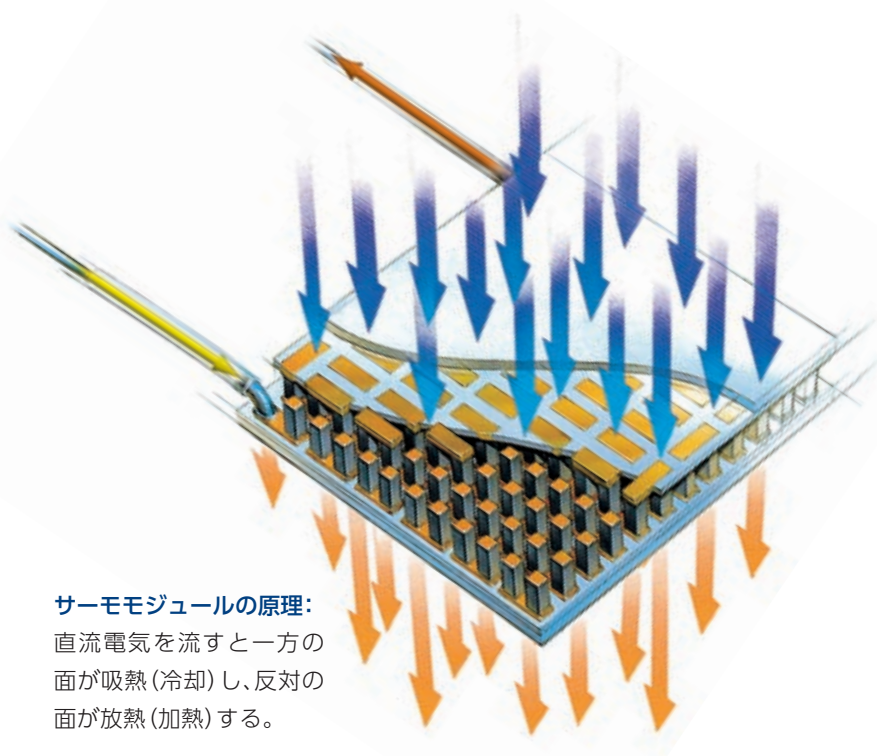
当社グループは、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに努めております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

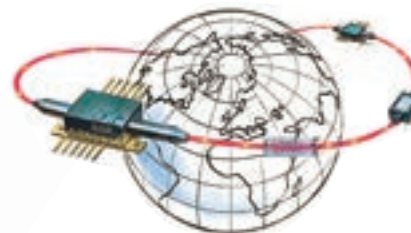
平成26年11月

# 電流によって 発熱・吸熱を制御

サーモモジュールとは、2種類の金属の接合部に電流を流すと、片方の金属からもう片方へ熱が移動するという効果を利用した、板状の半導体素子です。つまり、電流によって発熱・吸熱を制御することができる素子であり、これを利用した身近な製品が開発されています。



サーモモジュールの原理:  
直流電気を流すと一方の面が吸熱(冷却)し、反対の面が放熱(加熱)する。



世界を結ぶ光通信にも光増幅器用ポンプレーザーの発振波長の安定化などにサーモモジュールが使われます。



高級車の温調シート

**特徴：**電流極性の切替により冷却・加熱が可能、小型・軽量、温度応答性が良く、振動・騒音がない。

**用途：**光通信ネットワーク用レーザーダイオードの恒温、半導体製造装置の薬液恒温循環、DNA増幅器の温度調整、高級自動車シートの温度調整、病院・ホテル用小型冷蔵庫(静温冷却)、レジャー用クーラーボックス、ワインセラー

## 小型・軽量で温度応答性も良好な半導体冷熱素子

サーモモジュールの長所としては、小型化・軽量化が可能で、温度応答性に優れていることが挙げられます。また、振動・騒音といった問題がなく、フロンなど有害な触媒を用いない点も大きなメリットです。

## 光通信の発振波長安定化や高級車の温度調整シートなど、各分野に応用

小さなスペースにも組み込めるので、精密機械の部分冷却などに有効。光通信の発振波長安定化や高級車の温調シートなど、多様な分野に応用されています。

### 例えばこんなところで

#### ■ 自動車用温調シート

シートから冷風や温風が出て体温を調整します。



赤丸部分にサーモモジュールが使用されています。



シートから冷風(または温風)が出て快適です。

#### サーモモジュールを使用した最終製品例

- 空気清浄機
- ヘアドライヤー
- ルームエアコン
- ハンディビデオカメラ
- 美容家電
- シェーバー(電気カミソリ)
- ウォーターサーバー



ヘアドライヤー



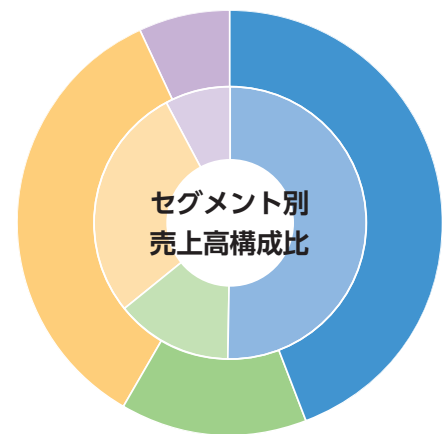
ルームエアコン



空気清浄機

## セグメント別事業概況

当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「電子デバイス事業」及び「太陽電池関連事業」の3事業を報告セグメントとしております。

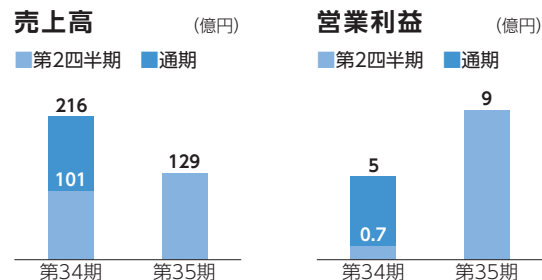


	第34期 第2四半期(内周)	第35期 第2四半期(外周)
装置関連事業	50.4%	44.4%
電子デバイス事業	13.9%	14.2%
太陽電池関連事業	28.1%	34.7%
その他	7.7%	6.7%

### 装置関連事業

売上高 **129**億円

営業利益 **9**億円



セラミックス製品

石英製品、セラミックス製品など半導体の製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用メモリやロジック系ICなどの顧客の設備稼働率が高止まりであったため受注は堅調でした。また、各種製造装置に使用する真空シールは、半導体及びFPDの設備投資需要が継続され、受託製造を含め堅調に推移し、シリコンウエーハ加工も底堅く推移しました。



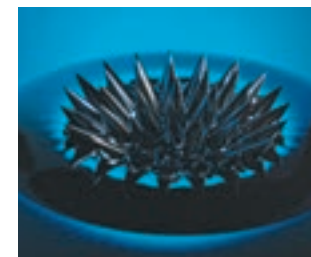
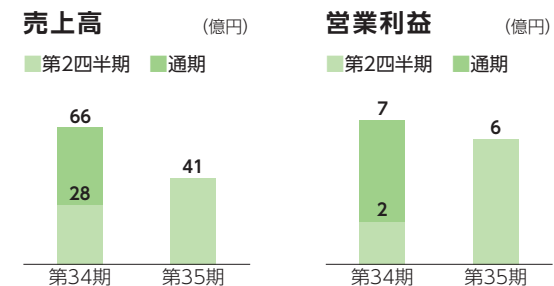
真空シール

※記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。  
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

### 電子デバイス事業

売上高 **41**億円

営業利益 **6**億円



磁性流体

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国・中国市場での自動車販売が堅調に推移し、温調シートが搭載される高級車の販売も好調でした。また、検査装置やバイオ関連機器用途の高機能製品も好調に推移しました。さらにパワー半導体用基板も売上を伸ばしました。磁性流体は、4Kテレビやスマートフォンに採用され概ね堅調に推移しました。

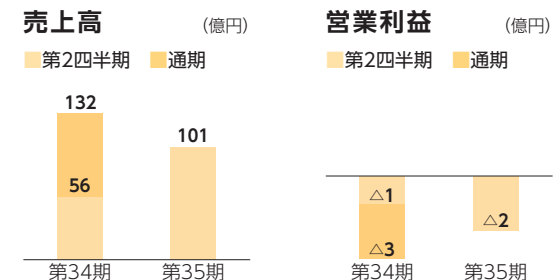


サーモモジュール

### 太陽電池関連事業

売上高 **101**億円

営業利益 **△2**億円



OEM製品

太陽電池産業は、太陽電池パネル導入量が伸びましたが、パネルの価格は市場での競争激化により値下がる傾向が続きました。その結果、当社のシリコン製品は、売上数量は大幅に増加したものの、コストダウンを要求され厳しい販売単価で推移しました。消耗品である石英坩堝や角槽は、ほぼ横ばいの売上高となりました。



石英坩堝

## 連結財務諸表 (要約)

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 平成26年9月30日現在	前期 平成26年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	39,560	39,835
固定資産	32,926	34,887
有形固定資産	27,108	29,041
無形固定資産	1,438	1,613
投資その他の資産	4,379	4,232
資産合計	72,486	74,723
<b>負債の部</b>		
流動負債	29,152	28,522
固定負債	7,035	8,140
負債合計	36,187	36,662
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,773	30,604
その他の包括利益累計額	4,977	6,884
少数株主持分	547	571
純資産合計	36,298	38,060
負債純資産合計	72,486	74,723

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### POINT 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末と比べ2,237百万円減少し、72,486百万円となりました。これは主に有形固定資産1,933百万円の減少によるものであります。

#### POINT 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末と比べ475百万円減少し、36,187百万円となりました。これは主に短期借入金1,314百万円、長期借入金1,341百万円の減少と買掛金及び支払手形1,714百万円の増加によるものであります。

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	29,238	20,229
売上原価	22,561	15,189
売上総利益	6,677	5,040
販売費及び一般管理費	5,477	4,880
営業利益	1,199	159
営業外収益	236	1,257
営業外費用	602	886
経常利益	834	530
特別利益	2	659
特別損失	56	6
税金等調整前四半期純利益	780	1,182
法人税等	433	480
少数株主損益調整前四半期純利益	346	702
少数株主利益(△は損失)	△7	8
四半期純利益	354	694

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### POINT 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ1,761百万円減少し、36,298百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定1,994百万円の減少によるものであります。

### 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	346	702
その他の包括利益	△1,940	3,774
その他有価証券評価差額金	85	△283
為替換算調整勘定	△2,021	4,030
退職給付に係る調整額	2	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	27
四半期包括利益	△1,593	4,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,552	4,406
少数株主に係る四半期包括利益	△41	70

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### POINT キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ467百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には8,018百万円となりました。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は4,373百万円(前年同期比2,359百万円増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益780百万円、減価償却費1,899百万円、仕入債務の増加額2,585百万円、売上債権の増加額1,067百万円によるものであります。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	4,373	2,013
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,123	△1,761
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,513	115
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△268	474
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	467	841
現金及び現金同等物の 期首残高	7,550	7,373
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,018	8,215

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は1,123百万円(前年同期比637百万円減)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,314百万円によるものであります。

#### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は2,513百万円(前年同期は115百万円の収入)となりました。これは主として、短期借入金の減少額960百万円、長期借入金の返済による支出1,531百万円によるものであります。

株式の状況

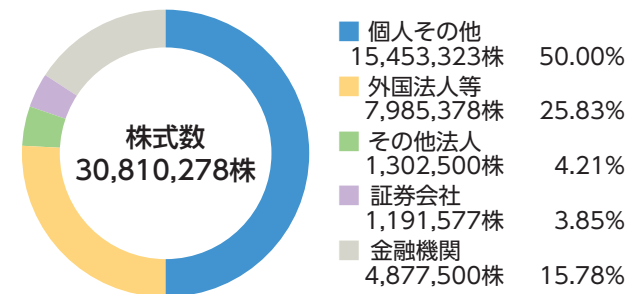
発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	30,903,702株
株主数	17,447名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,234,200	3.99
野村信託銀行株式会社(投信口)	834,700	2.70
山村 章	817,600	2.64
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	751,797	2.43
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	648,900	2.09
THE BANK OF NEWYORK-JASDECNON-TREATY ACCOUNT	567,966	1.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	501,400	1.62
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	469,120	1.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	420,900	1.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.35

(注)当社は自己株式93,424株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



(注)自己株式93,424株は上記の円グラフ中の株式数に含まれていません。

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	132億134万6,010円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	131名

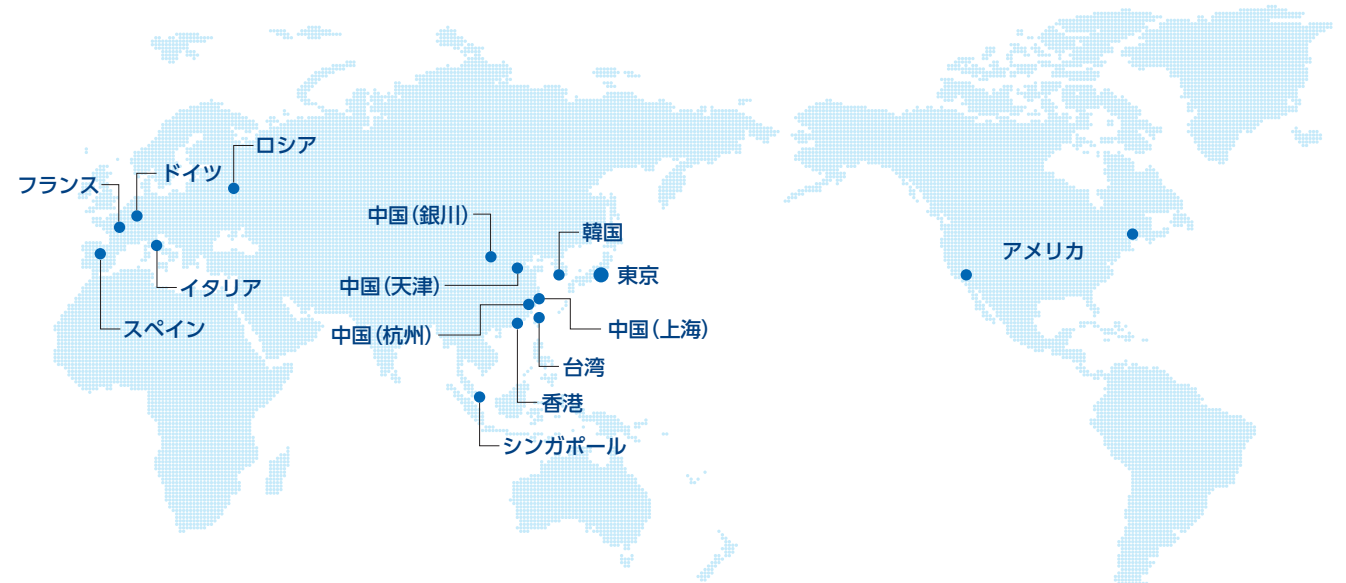
事業所

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル
関西営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1階
千葉工場	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

役員

取締役	
代表取締役社長	山村 章
代表取締役副社長	山村 丈
代表取締役副社長	賀 賢 漢
取締役	小松 輝 寿
取締役	鈴木 孝 則
取締役	若木 啓 男
社外取締役	島田 忠 男
社外取締役	片山 茂 雄
社外取締役	中村 久 三
監査役	
常勤社外監査役	宮田 賢 一
社外監査役	井上 朗
社外監査役	福森 久 美

グローバルネットワーク



国内 株式会社フェローテックセラミックス(東京)

富楽徳科技発展(天津)有限公司(中国天津市)

香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港)

台湾飛羅得股份有限公司(台湾)

Ferrotec Korea Corporation(韓国)

FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE LTD(シンガポール)

海外 Ferrotec(USA) Corporation(アメリカ)

Ferrotec GmbH(ドイツ)

Ferrotec S.A.(スペイン)

Ferrotec S.R.L.(イタリア)

Ferrotec SARL(フランス)

Ferrotec Nord Corporation(ロシア)

杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)

杭州和源精密工具有限有限公司(中国杭州市)

杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市)

杭州晶鑫科技有限公司(中国杭州市)

杭州大和江東新材料科技有限公司(中国杭州市)

上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)

上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)

上海漢虹國際貿易有限公司(中国上海市)

寧夏銀和新能源科技有限公司(中国銀川市)

寧夏富楽徳石英材料有限公司(中国銀川市)